令和３年度版

豊田市森づくり白書

豊田市

＝表紙の写真＝

豊田市森林保全ガイドラインに基づく路網作設のための現地確認の様子

令和３年度版

豊田市森づくり白書

この報告書は、豊田市の森林の状況や豊田市が行った森づくり施策等について、令和3年度の実績をまとめたもので、豊田市森づくり条例第19条の規定に基づき、豊田市が毎年作成して公表するものです。

豊田市森づくり条例

（年次報告書）

第19条　市長は、森林の状況、森づくり基本計画に基づき実施された施策の状況等について、年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

目　　次

第１章 森林及び林業施策 ---------- 1

Ⅰ　重点プロジェクト ---------- 1

1 各プロジェクトの達成状況 ---------- 1

（１）　間伐推進プロジェクト ---------- 1

（２）　森林保全推進プロジェクト ---------- 1

（３）　地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト ---------- 2

（４）　森づくり人材育成プロジェクト ---------- 2

2 各プロジェクトの実施状況 ---------- 3

（１）　間伐推進プロジェクト ---------- 3

（２）　森林保全推進プロジェクト ---------- 5

（３）　地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト ---------- 5

（４）　森づくり人材育成プロジェクト ---------- 9

Ⅱ　そのほかの主要な施策 ---------- 11

1 各施策の実施状況 ---------- 11

（１）　森林情報の管理に関する施策 ---------- 11

（２）　とよた森林学校に関する施策 ---------- 11

（３）　NPO・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策 ---------- 13

（４）　事業評価に関する施策 ---------- 14

（５）　その他の施策 ---------- 15

Ⅲ　森づくりの構想及び基本計画等に関する業務 ---------- 17

1 「とよた森づくり委員会」の開催 ---------- 17

第２章 施策以外の業務 ---------- 18

Ⅰ　管理業務 ---------- 18

1 森林法に係る各種業務 ---------- 18

（１）　伐採及び伐採後の造林の届出書の受理 ---------- 18

（２）　森林の土地の所有者届出書の受理 ---------- 18

2 森林課所管土地・建物の管理 ---------- 18

（１）　豊田市森林会館の管理 ---------- 18

（２）　市有林の管理 ---------- 18

（３）　林道の維持管理 ---------- 19

Ⅱ　広報業務 ---------- 20

1 講演、視察受入等の森づくり推進活動 ---------- 20

第３章 決　算 ---------- 21

参　考 ---------- 22

Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況 ---------- 22

1　豊田市の森林の現状 ---------- 22

2　木材価格の変化と木材生産量 ---------- 24

3　森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状 ---------- 26

（1）　組　織 ---------- 26

（2）　事業活動 ---------- 27

Ⅱ　令和３年度の産業部森林課の組織と当時の主な業務 ---------- 28

付　表 ---------- 29

利用される方へ

１．H17、H18、…… R2、R3は、それぞれ年度を表します。
２．時点は令和4年3月31日現在及び各年度末の数値を記載しました。
３．事業量の数値は、四捨五入していますので、内訳と計は必ずしも一致しないことがあります。
４．表中符号の用法は次のとおりです。
　「０」：四捨五入後単位未満、「－」：該当数字なし、「…」：不明

第１章　森林及び林業施策

令和3年度（以下「当年度」）は、市が平成の広域合併をしてから17年目にあたるとともに、平成30年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」（以下「新・森づくり構想」）及び同時に改正した「第3次森づくり基本計画」（以下「第3次計画」）に定める事業期間の4年目となります。

第3次計画では4つの重点プロジェクトと、そのほかの主要な施策7つを設定しました。これら施策により公益的機能を重視した森づくりを実施していきます。

Ⅰ　重点プロジェクト

１　各プロジェクトの達成状況

（１）　間伐推進プロジェクト

間伐面積については、各種の間伐補助事業等を総合的に組み合わせた結果、943ha となりました。前年度の実績919ha と比較して24ha 増加し、達成率は78%でした（p.3参照）。

当年度は、地域森づくり会議が新たに1会議設立され、森づくり団地の樹立面積は、1,101ha、累積では会議数が113、団地樹立面積が14,336ha となりました（p.4参照）。

〈間伐推進プロジェクトの達成状況（令和3年度）〉

指　標	実　績（A）	目　標（B） 上段：2022 年度 下段：2027 年度	達成率（A/B） 上段：2022 年度 下段：2027 年度
間伐面積（ha/年）	943	1,200	78%
		1,200	78%
森づくり団地樹立面積（ha/年）	1,101	1,200	92%
		見直し時に再設定	－
森づくり団地樹立累積面積（ha）	14,336	15,750	91%
		見直し時に再設定	－

注１　小数点以下省略

（２）　森林保全推進プロジェクト

皆伐や林業用路網開設等は、森林環境を大幅に変え、森林土壌に大きなダメージを与える行為です。これらの影響を最小限に抑えるため、市では平成30年度に「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を策定し、これに沿った指導を行っています。伐採及び伐採後の造林の届出書が提出された時や届出前の相談があった際に、申請者と一緒に予定地を歩いて、ガイドラインに定めた傾斜35度以上の急傾斜地、0次谷、地質などの危険地帯の有無や河畔林の確認、皆伐上限面積（5ha）が守られているかどうかをチェックしています。当年度は、計20件・17ha について指導を行いました（p.5参照）。

（３） 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要です。当年度は木材生産量の拡大や新たな作業システムの導入に向けて、各施策に取り組みました。その結果、伐採搬出コストは12,331円/m^{3}で、前年度実績12,183円/m^{3}と比較して、148円の増加となりました。また、間伐に伴う素材生産量は30,581m^{3}で、前年度実績30,954m^{3}と比較し、373m^{3}の減少となりました。さらに、中核製材工場における原木取扱量は43,764m^{3}で、前年度実績36,783m^{3}と比較し、6,981m^{3}の増加となりました。

〈地域材の生産・流通・利用推進プロジェクトの達成状況（令和3年度）〉

指 標	実 績（A）	目 標（B） 上段：2022 年度 下段：2027 年度	達成率（A/B） 上段：2022 年度 下段：2027 年度
伐採搬出コスト（円/m^3）	12,331	10,000	0%
		8,000	0%
間伐に伴う素材生産量（m^3）	30,581	25,000	122%
		30,000	102%
中核製材工場における原木取扱量（m^3）	43,764	45,000	97%
		45,000	97%

注１　伐採・搬出コストは、伐採・集材・造材・搬出（土場）までにかかるトータル経費（消費税込み）のこととした。
　２　伐採搬出コストの達成率については、（基準年のコスト － 実績）÷（基準年のコスト － 目標）。基準年のコストは第3次計画樹立時（2016年度）の11,000円/m^{3}とした。
　３　達成率は0から100%の範囲とし、計算上マイナスとなる場合は0とした。

（４） 森づくり人材育成プロジェクト

新・森づくり構想の実現の担い手となるプロフェッショナルな林業技術者の育成として、森林施業プランナーの技術育成のための「森づくり人材育成研修」を平成30年度より開始しました。岐阜県立森林文化アカデミーと連携し、豊田森林組合の中堅職員6人が13日間の研修を受講しました（p.9参照）。

また、森づくりの直接的な担い手となる森林作業員の育成のため、令和2年度から豊田森林組合の新規採用者を林業大学校等へ就学させる取組を始め、当年度は新たに3人が林業大学校等で学んでいます（p.10参照）。

それに加え、林業に必要な基本的技術の習得を目的とする「緑の雇用」の新規研修生2人を受け入れました。

〈森づくり人材育成プロジェクトの達成状況（令和3年度）〉　（単位：人）

指 標	実 績（A）	目 標（B）	達成率（A/B）
森づくり人材育成研修生	6	4	150%
新規採用職員育成支援事業研修生	6	6	100%
「緑の雇用」新規研修生	2	3	67%

注 目標値は2022、2027年度ともに同じ

2 各プロジェクトの実施状況

（1） 間伐推進プロジェクト

① 間伐推進計画

本プロジェクトは、森づくり構想の軸となる事業で、地域森づくり会議方式の団地化をはじめ各種施策を総合的に利用して間伐を推進していくものです。平成30年度からは第3次計画に基づく新しい間伐推進プロジェクトになり、間伐推進計画を見直し、年間1,200ha の間伐を安定的に実施する目標に改めました。また、事業別に間伐実施面積の目安を設け実行管理を行っています。なお、公有林（市有林・県有林）及び県分収林等の間伐は、計画対象外としています。

当年度の間伐実績は943ha であり、前年度919ha と比較して24ha の増加となりました。また、間伐面積のうち、切置き間伐は753ha、利用間伐は190ha でした。今後も、間伐の事業地である地域森づくり会議の団地化を促進し、人工林の健全化のため間伐により過密人工林の一層を図ります。

〈事業別の間伐実施面積（令和３年度）〉 （単位：ha）

作業種	保安林本数調整伐	あいち森と緑づくり	矢作川水源基金水源林対策	水源環境保全林整備	水道水源特別区域森づくり	間伐促進事業等			計
						市単独	水道水源	国県補助	
切置き	41.36	407.58	32.09	52.35	39.54	81.85	98.15	－	752.92
利用	－	－	24.43	－	－	－	－	165.36	189.79
合計	41.36	407.58	56.52	52.35	39.54	81.85	98.15	165.36	942.71

注１　年度別の値は付表1参照
　２　市間伐補助事業の詳細は付表2参照

■ 豊田市予算に関わる間伐事業の実績

市は、国県や（公財）矢作川水源基金が実施する間伐補助事業に対する補助金の上乗せ、水源環境保全林整備事業により合計337ha の間伐を実施しました。

〈豊田市間伐事業　事業別内訳（令和3年度）〉 （単位：ha･千円）

事業名		事業量	事業費	財源内訳			
				国･県補助金	市費	矢作川水源基金	所有者負担金
矢作川水源基金水源林対策		56.52	31,071	－	5,494	17,222	8,355
水源環境保全林整備		52.35	15,074	－	15,074	－	－
水道水源特別区域森づくり		39.54	28,763	－	28,763	－	－
間伐促進	市単独	81.85	43,178	－	43,109	－	69
	水道水源	98.15	39,985	－	39,930	－	55
	国県補助（市上乗せ）	9.07	13,048	－	5,219	－	7,829
計		337.48	171,119	－	137,589	17,222	16,308

② 提案型集約化施業による間伐事業地の確保

■　地域森づくり会議方式による団地化の推進

地域森づくり会議が1会議設立され、累計で113会議となりました。森づくり団地は、1,101ha（35団地）を新たに認定し、累計では627団地、14,336ha となりました。

市と豊田森林組合で組織した「団地間伐促進チーム」や、市が人件費を補助している「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）が推進力となり、年間で約1,000ha の団地化ができています。今後は、年間認定面積を保ちつつ効率的に間伐の実施につなげることが重要となっています。特に、当初に団地認定した人工林の2回目の間伐が必要になってきており、新規事業地と並行して間伐を計画的に進めていく必要があります（付表3、付表4参照）。

〈令和3年度に設立された地域森づくり会議〉　（単位：人）

地区	名　称	構成員数	設立年月日	会議の区域
足助	連谷地域森づくり会議	10	R3.4.1	連谷町

〈令和３年度に認定された団地〉　（単位：団地･ha）

項目	豊田	小原･藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
団地数	1	2	6	10	6	10	35
面　積	17.92	27.10	240.34	312.62	163.35	339.18	1,100.51

■　あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林整備事業）等の候補地とりまとめ業務

愛知県からの候補地とりまとめ業務の委託を受け、「あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）」では497ha、「保安林本数調整伐事業」では24ha をとりまとめました。なお、これら候補地は、地域森づくり会議方式によりとりまとめられたものの一部としています（付表5参照）。

■　水道水源特別区域森づくり事業候補地とりまとめ業務

水道水源特別区域森づくり事業による間伐に向けて、牛地町大道、押出及び駒山の一部において候補地55ha をとりまとめました。

③ 森林経営計画認定状況

森林経営計画は、足助地区1件、旭地区1件、稲武地区4件、下山地区5件の計11件を新たに認定しました（付表6参照）。

④ ゾーニングの実施と将来像（目標林型）を目指した施業

ゾーニングの実施と目標林型の設定は、地域森づくり会議方式による団地化を通して、森林所有者に提案・協議し、進めていくこととしています。しかし、これまでに団地化した地域のほぼすべてが木材生産林に設定されており、ゾーニングが形骸化しています。今後はこの問題を解消すべく、ゾーニングと目標林型について再検討する必要があります。

（２） 森林保全推進プロジェクト

森林保全のルールの設定

土砂流出防止や洪水防止など森林の持つ公益的機能を維持するためには、皆伐や新規の林業用路網開設に係る最低限のルール設定をする必要があります。そこで市は、森林所有者や林業事業体など地域との連携・協力を図りながら取り組む、「豊田市森林保全ガイドライン」（以下「ガイドライン」）を平成30年度に策定しました。

〈ガイドライン運用実績〉　（単位:件･ha）

地区	件数	面積
豊田	1	0.47
藤岡	1	0.14
小原	2	0.07
足助	1	0.05
下山	13	14.88
旭	2	1.54
稲武	0	0.00
計	20	17.15

■　**ガイドラインの運用実績**

ガイドラインを策定して以降、伐採及び伐採後の造林の届出書が提出された時や届出前の相談があった際に、傾斜35度以上の急傾斜地、0次谷、地質がぜい弱な箇所などの危険地帯や、河畔林、皆伐上限面積（5ha）などの基準に留意して現地確認を行っています。

また、現場の状況を把握した上で、森林所有者・伐採事業者と協議し、ガイドラインに沿った行為になるよう指導を継続しています。

（３） 地域材の生産・流通・利用推進プロジェクト

地域材の利用促進には、木材生産を低コストで行うことや立地に応じた作業システムで森林保全に配慮すること、川上（山元）から川中（製材所等）、川下（消費者）に至る一連の流れの円滑化を図ることが重要であり、これら課題について取り組みました。

① 豊田型作業システムの確立

当年度は前年度に引き続き、愛知県及び豊田森林組合とともに、タワーヤーダを活用する「新・作業システム」の検討部会を開催し、そのメリット・デメリットを整理しました。その結果、新・作業システムは、車両系よりも間伐による素材生産コストが高くなるものの、搬出路の開設延長が短くなるため、林地保全的にメリットがあることと、急傾斜地の森林所有者にも利益を還元できるというメリットがあることがわかりました。これらのことから、新・作業システムについて導入の方向性で進めることとしました。

② 高性能林業機械の導入及び更新の促進

素材生産事業の効率化のため、高性能林業機械の新規導入、更新、リース及びレンタルについて市が助成しています。新規導入として、豊田森林組合のフェラーバンチャ1台、リースとして、豊田森林組合のプロセッサ1台を対象にそれぞれ購入費用の2/10、リース料の2/10を助成しました。レンタルとして、各種高性能林業機械を対象に利用料の1/3を助成しました（付表7参照）。

（単位：千円）

年度	高性能林業機械導入事業（新規購入）	対象機種	高性能林業機械更新事業（更新）	対象機種	高性能林業機械施業促進事業（レンタル･リース）	対象機種（リース）
R3	3,870	フェラーバンチャ１台	－	－	936	プロセッサ１台

③ 林業用路網の整備

■ 林業用路網の開設実績

第3次計画に基づき利用間伐を推進するために、簡易な林業用路網である作業道及び搬出路を重点的に整備した結果、当年度の総開設延長は43.2km となりました（付表19参照）。

〈林業用路網の開設延長（令和3年度）〉 (単位：km)

林 道	林業専用道	作業道				搬出路			合 計
		単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
0.49	－	0.65	1.38	－	2.52	40.66	－	40.66	43.18

〈林道開設（大日影支線･足助地区）〉

■ 林道等整備事業

効率的な木材運搬及び地域の林業振興のため、林道を493m 開設しました。このうち、愛知県の補助事業制度を活用し、市が野入立野線（稲武地区）及び大日影支線（足助地区）を施工しました（付表10、付表11参照）。また、愛知県が河上瀬柏洞線（稲武地区）及び田平沢平瀬線（下山地区）を代行施工しました（付表11参照）。

■ 作業道整備事業

平成20年度から始まった市の間伐材搬出路網（作業道）開設事業により、豊田森林組合が作業道2路線を開設しました（付表12参照）。また、（公財）矢作川水源基金の補助事業により、豊田森林組合が作業道1路線を開設しました（付表13参照）。

■ 搬出路整備事業

平成20年度から始まった市の補助事業により、私有林で豊田森林組合が開設した搬出路開設の実績として、豊田森林組合施工が34,057m（付表14参照）、自力施工が6,598m（付表15参照）、全体で40,655mの搬出路を整備しました（付表14、付表15参照）。

④ 林業用路網の維持管理

効率的な木材運搬及び安全な林道利用のため、愛知県の補助事業制度を活用し、林道の改良及び舗装整備に取り組み、改良事業は7路線487m、舗装事業は4路線3,135m となりました（付表16～18参照）。

⑤ 利用拡大の推進

地域材が市内で常態的に利活用され、木の良さと木材利用への関心が高まるように、地域材製品の開発、木育活動等を通して、（一社）ウッディーラー豊田を始めとした地域の木材関係者と共働により、市民が木に触れあう機会の創出を図っており、次のとおり各種事業を実施しました。

〈（一社）ウッディーラー豊田と連携して参加・出展したイベント（令和3年度）〉

イベント名	開催日	会場	活動内容
あいち木づかいフェスタ	4月29日	愛知県森林公園	地域材を活用したワークショップ
ウッドワンダーランド2021	10月7日～10日	ポートメッセなごや	地域材を活用したワークショップ、展示・販売
ジビエマルシェ	10月23日	鞍ケ池公園	地域材を活用したワークショップ
桃太郎マルシェ	11月20日	犬山市桃太郎神社	地域材を活用したワークショップ
STREET&PARK MAEKET	12月11日	とよたエコフルタウン	地域材を活用したワークショップ
森林と都市をつなぐ木育フェア	2月26日、27日	イオンモール東浦	地域材を活用したワークショップ、展示・販売
とよたビジネスフェア	3月11日、12日	スカイホール豊田	地域材製品の展示・販売
WOODEALER　SDGｓコレクション2022～地域の森林を活かす作品展～	3月23日～28日	松坂屋名古屋店	地域材製品の展示・販売、地域材を活用したワークショップ

（一社）ウッディーラー豊田は、指定管理を担う豊田市森林会館を拠点とし、会員企業と連携し、引き続き豊田市産材を活用した商品開発、木材に関わる勉強会やツアーを実施しながら地域材の新たな流通確保及び需要拡大を促進します。

〈（一社）ウッディーラー豊田の構成員〉

役員	代表理事	樋口　真明
	理　　事	鈴木　禎一（あさひ製材協同組合（現：八幡製材））、 伊藤　浩二（豊田森林組合）、伊藤　秀和（西垣林業（株））、 小野　健（（株）小野デザイン事務所）、深谷　康史（豊田市産業部森林課）
	監　　事	山﨑　真理子（名古屋大学）
会員	102者　　（法人会員･個人会員）	

■　**豊田市テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金**

市内のテナント店舗等で地域材を活用して木質化をするものに対して経費の一部を補助し、行政が積極的に情報発信することにより、地域材の活用促進と市民への見える化を図りました。当年度は、6店舗に補助を行うと、情報発信として、商工会議所や報道発表等での発信により、幅広い人へ PR しました。

〈補助金支出店舗一覧（令和3年度）〉

店名	所在地	業態	使用箇所
こいけや養蜂園	平戸橋町	はちみつ販売店	壁、ファサード、テーブル、棚、屋根
Osteria-b	西町	レストランバー	可動式目隠しパネル、テーブル
ステーキ・ハンバーグ風の森	大清水町	レストラン	フローリング、看板
T-FACE	若宮町	ショッピングモール	ルーバー
畦道・産地直売店	新盛町	産地直売店	フローリング、建具、壁張り
こだわり鮮魚と酒の肴いそや	西町	居酒屋	棚、台座

＜こいけや養蜂園＞

＜osteria-b＞

＜ステーキ・ハンバーグ 風の森＞

＜T-FACE＞

⑥ 市民理解の促進

■ **木育イベント等**

当年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

⑦ 公共建築物等における地域材の利用

公共施設の建築や道路工事等の際に地域材を積極的に活用し、地域材の PR と利用の促進を図っています。建設用資材や土木工事用の看板・杭・柵等の材料として281.72m^{3}の地域材を利用しました（付表20参照）。

（４） 森づくり人材育成プロジェクト

林業労働者の高齢化・人手不足・人材不足が課題となっている中、市が目指す森づくり構想の実現に向けて、その担い手となるプロフェッショナルな林業技術者を育成します。

① 森づくり人材育成研修（森林施業プランナーの育成）

平成30年度から、岐阜県立森林文化アカデミーと連携して、林業に携わる人材の育成を目的とした「森づくり人材育成研修」を実施しました。当年度は2期目の2年目（2年間の通し研修）として、豊田森林組合の中堅職員6人を対象とした研修を行いました。

〈森づくり人材育成研修の実施内容（令和３年度）〉

実 施 日	研 修 名	研 修 内 容	場　所	講　師（敬称略）
4月22日～ 4月23日	壊れにくい森林作業道と森林ゾーニング	【実施前研修】 ・前回の振り返り ・今後予定の作業道の線形検討実習 ・今後予定の団地化予定地の実習	豊田森林組合他	臼田　寿生 (岐阜県森林研究所)
6月22日～ 6月23日	木材の流通・加工	・多様な木材利用 ・ヒノキ・スギの並材利用 ・小径木広葉樹の活用 ・視察（美濃建築製品センター、白鳥林工業協業組合、グリーンウッドワーク）	森林文化アカデミー他	中通　実 （岐阜県）
6月28日～ 6月29日	目標林型と将来木施業	【実施中研修】 ・前回の振り返り ・モデル林の選木　現地検討	豊田森林組合他	横井　秀一 （造林技術研究所）
10月15日	木材市場	・視察（小林三之助商店、親和木材工業(株)、岐阜県銘木(協)、板蔵ファクトリー）	豊田森林組合他	中通　実 （岐阜県）
11月9日	壊れにくい森林作業道と森林ゾーニング	【実施中研修】 ・前回までの振り返り ・作業道施工中現場の踏査 ・団地化進行中現場の踏査	豊田森林組合他	臼田　寿生 (岐阜県森林研究所)

実 施 日	研 修 名	研 修 内 容	場　所	講　師（敬称略）
1月26日～ 1月27日	目標林型と将来木施業	【実施中研修】 ・前回の振り返り ・モデル林の選木　現地検討	豊田森林組合他	横井　秀一 （造林技術研究所）
2月3日～ 2月4日	林業事業体の経営・会計	・前回の振り返り ・豊田森林組合の経営分析 ・林産部門、森林整備部門等の収支構造 ・経営安定化に向けた収益構造とは（全体、各部門） ・人工林における林業利回り	豊田森林組合	杉本　和也 （岐阜県立森林文化アカデミー） 新永　智士 （鹿児島大学）
3月23日	壊れにくい森林作業道と森林ゾーニング	【実施後研修】 ・作業道施工後現場の踏査 ・団地化完了後の内容と評価	豊田森林組合他	臼田　寿生 （岐阜県森林研究所）

注 所属は令和4年4月1日現在

〈講義（現地実習）の様子〉

〈講義（視察）の様子〉

② 森づくり人材の確保等

■　「緑の雇用」事業等の活用

「緑の雇用」事業は愛知県森林組合連合会からの委託を受けて、豊田森林組合が事業を実施しています。なお、豊田森林組合は、平成15年度より積極的に本事業を活用しており、現在までに114人の研修生を受け入れ、36人が現在も作業班や組合職員として活躍しています。また、平成29年度からは「緑の雇用」を補完する「新規就業者育成推進事業補助金」を設け、安定的な研修生の確保や定着率を向上させる支援に取り組んでいます（付表21参照）。

■　新規就業者育成支援

「新規就業者育成推進事業補助金」においては、前年度から実施している「新規採用者育成支援事業」により、当年度も新たに3人が豊田森林組合に就職しました。市は、豊田森林組合の新規採用者の林業大学校等への就学に要する経費の一部を補助しており、豊田市における林業従事者の育成を支援しています。

■　森づくり団地化推進員

森づくりの団地化を推進する人材を育成するとともに、地域の雇用創出を目的として、平成21年度から豊田森林組合が臨時的に雇用する「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）に対して人件費の一部を補助しており、当年度は8人分の補助をしました（付表22参照）。

■　市における専門職員の配置

森林・林業に関する専門教育を受けた職員は、3人在籍しています。

その他に森林総合監理士（フォレスター）に登録された職員が、1人在籍しています。

II そのほかの主要な施策

1 各施策の実施状況

（1） 森林情報の管理に関する施策

豊田市森林 GIS 保守・運用業務

森林課独自の GIS について、基本データである森林計画図、森林簿、市地番図及びオルソ画像等を最新のデータに更新しました。また、当年度に新規又は変更のあった地域森づくり会議や森づくり団地、水道水源特別区域森づくり事業地及び林地台帳を整備しました（付表23参照）。

（2） とよた森林学校に関する施策

① とよた森林学校の実績

講座内容は市が企画し、運営は豊田森林組合に委託しています。当年度は7講座延べ22日を実施するとともに、事務局が自主的に企画・運営するフォローアップ研修を3回開催しました。さらに、外部からの依頼に基づき、森林課職員等が講師を務めて実施する出前講座を14回開催しました。

〈事務局・スタッフの体制〉

校長	蔵治 光一郎 （東京大学大学院教授） ※外部から選任
副校長	片桐 正博 （豊田森林組合代表理事組合長）
事務局長	鈴木 誠美 （豊田森林組合代表理事副組合長兼専務）
事務局	（豊田森林組合職員：2人）
	（おいでん・さんそんセンター 森林部会：5人）

■ **人材育成コース**

間伐を実施する人材や、自然観察会で指導する人材の育成を目的として、次の3講座を開催しました。これまで間伐ボランティア初級講座の修了生で構成されるボランティア団体が毎年1団体ずつ組織され、豊田市内で活動しています。また、間伐ボランティア初級講座及び楽しい山づくり入門講座について、より実践的に知識を深めるために、フォローアップ研修を開催しました。

〈人材育成コース概要〉 （単位：日・人）

講座名	開催講座日数	受講者数
楽しい山づくり入門講座	3	5
（フォローアップ）持ち山見学会	1	3
森林観察リーダー入門講座	4	22
間伐ボランティア初級講座	3	18
（フォローアップ）間伐実習①	1	12
間伐実習②	1	11
計	13	71

■ **森の応援団コース**

森林・林業の理解者である森の応援団をふやすことを目的として、3講座を企画しました。しかし、森林セミナーは当年度中止となりました（付表25参照）。

〈森の応援団コースの概要〉 （単位：日・人）

講座名	開催講座日数	受講者数
森林と災害	2	9
楽しい森林ウォーキング	2	17
森林セミナー	-	-
計	4	26

■　**出前講座の開催**

当年度は、申込みのあった7団体に対し、延べ15回の出前講座を開催しました（付表26参照）。都市部の小学校を対象にした講座では、森林課職員と樹木医の共働により、より効果的な授業の展開を図りました。

〈出前講座の開催概要（令和3年度）〉　　(単位：団体･回･人)

申込み 団体数	年間延べ 開催数	延べ 参加者数	内　容　等
7	15	553	森林の働き、間伐の効果などの基礎講座

② 豊田市・森の総合サイト「Tomori」の開設

森林に関する情報を、より幅広い市民に効率的かつ効果的に発信するとともに、豊田市の森林に関する様々な情報を広く普及するため、新たに総合サイトを開設しました。このサイトでは、森林環境教育講座について、広く募集・応募ができる利便性の高いシステムとなっており、今後は森林に関する様々な情報を集約するポータルサイトとして、更なる情報発信を図っていきます。

Tomori QR コード

③ その他森林普及事業の拡大に向けた施策

森林普及の柱となる、とよた森林学校および出前講座を実施したほか、更なる森林環境教育の普及のため、以下のことを行いました。

■　**森林普及動画の制作**

子どもたちに森の楽しさや美しさ、森林整備の大切さなどを伝えるために、四季の移り変わりや森に携わる人達を紹介した動画「きっと行きたくなる 豊田市の森」を作成しました。動画は、市公式 YouTube チャンネルで公開するとともに、小学生を対象にした出前講座で今後活用していく予定です。

動画 QR コード

■　**イベント出店・パネル等の展示**

当年度は以下のとおりイベント出店・パネル等の展示を行いました。

<出店・展示一覧>

イベント名	日時	内容	場所
エコット期間展示「知らなかった　森林・林業の世界」	7月1日～8月3日	パネルやクイズ、木製品の展示。森林課から事前に説明を受けたインタープリターによる来訪者への説明。	豊田市環境学習施設エコット
ジビエマルシェ「森のクイズ検定」	10月25日	森のクイズ検定ブースの出展。森のクイズ検定ステージイベントの実施。	鞍ケ池公園
WE LOVE とよたフェスタ「森のクイズ検定」	3月13日	森のクイズ検定ブースの出展（Tomoriチラシの配布）。	スカイホール豊田

（３） NPO・森林ボランティア等との共働による森づくりに関する施策

豊田市では、森林ボランティアや NPO、企業などと連携を深めて、共働による森づくりを推進しています。

① 森林ボランティア活動の支援

豊田市を中心とした矢作川流域は、人工林での活動を主とした森林ボランティアの活動が盛んな地域です。今後は、とよた森林学校の修了生などから構成されたボランティア団体が新たに結成され、市内の活動が活発化していくことも期待されます。森林ボランティアが自立の精神を持って活動できるように以下の支援を行いました。

■ 森林ボランティア始動支援事業

活動を始めるに当たっては、いろいろな活動用具などの整備が必要となります。平成17年度より、そうした団体に対して初動の2年間に限り補助しています。当年度は1団体（構成員数24人）に交付しました（付表27参照）。

■ 森林ボランティア安全対策事業

活動に伴う傷害保険の加入を促進するため、平成18年度よりボランティア保険料を補助しています。当年度は14団体（構成員数211人）に交付しました（付表28参照）。

■ 実習地としての市有林の提供

市民団体等が自主的な森林整備を行う場を提供するため、平成20年度に大洞市有林（64ha）を「森林活動の森・大洞」、平成22年度に木瀬市有林（1.8ha）を「森林活動の森・木瀬」に指定しています。当年度は木瀬市有林と保全区域緑地（宮前町）を活動フィールドとして市民団体等に提供しました。

② 企業・団体の森づくり活動に対する支援

■ 企業等と共働した森づくり

当年度は企業が実施する活動に対し、木瀬市有林をフィールドとして提供した他、出前講座を2回実施しました。またその活動を行うにあたり、活動計画の指導も行いました。

③ とよた森づくりの日ととよた森づくり月間における普及啓発活動

市は、豊田市森づくり条例第16条第2項において10月26日を「とよた森づくりの日」、10月を「とよた森づくり月間」と定めました。森づくりに関する普及啓発は、とよた森林学校や日常の活動等でも行っていますが、当年度はこの期間に次の取組を行いました。

■ ジビエマルシェでの展示

当年度は、鞍ケ池公園にて開催されたジビエマルシェにブース出展し、森林と林業に関するクイズを実施しました（p12参照）。

（４） 事業評価に関する施策

間伐効果の検証及び効果的な間伐手法の検討のために各種モニタリングを実施しています。

① モニタリング

■ 間伐モニタリング調査

市は公益的機能の発揮される森づくりを目指して、間伐を推進していますが、間伐率や間伐手法の違いが下層植生や樹木の成長プロセスに与える影響についてのデータは乏しく、経験的推論の域をでません。そのため、平成20～22年度に75箇所の調査地を設定し、それ以降、植生調査と林分調査を実施しています。

その14年目にあたる当年度は、平成21年度に設定した25箇所で調査を実施しました。

〈間伐モニタリング調査計画表〉

設定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R２	R３
H20	○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目			○ 4回目	
H21		○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目			○ 4回目
H22			○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目		

〈間伐モニタリング調査地の設置状況〉 （単位：箇所）

年度	間伐								皆伐		対照区（放置）			計
	切置き					巻枯らし		列状						
	20％	30～33％	40％	50％	60～70％	40％	55～66％	2残1伐	小面積	その他	人工林	天然林	その他	
H20	2	2	7	2	2	5	1	2	－	－	2	－	－	25
H21	2	3	3	3	－	1	2	3	－	2	4	1	1	25
H22	1	3	6	－	1	1	－	－	1	4	6	2	－	25
計	5	8	16	5	3	7	3	5	1	6	12	3	1	75

■　**水源かん養機能モニタリング**

洪水や渇水などの水をめぐる問題は市にとって最重要課題の一つであり、この解決のために森林の果たす役割が注目されています。一方で、間伐や皆伐などの施業が森林の水の動きにどの程度の影響を与えるかについては十分に解明されていません。そこで市は、市内に試験地を設置し、東京大学大学院農学生命科学研究科と協力して、間伐前後の水量や水質の変化を把握する調査を平成27年度から開始しました。

当年度は前年度と同様に、気象、流量、樹冠遮断量、表面流量、土砂流出量、及び渓流水の水質等について観測を行いました。

〈調査内容〉

調査地	試験流域	調査開始年度	伐採年度	観測項目
大洞 市有林	切置き間伐流域(A-1) 対照流域(A-2)	平成27年度	平成30年度～ 令和2年度	①気象、②流量、③樹冠遮断量、④表面流出量、⑤土砂流出量、⑥水質
御内 市有林	皆伐流域(M-1) 利用間伐流域(M-2) 皆伐流域(M-3) 対照流域(M-4)	平成28年度	令和4年度 （予定）	①気象、②流量、③土砂流出量、④水質

〈樹幹流量の観測〉

〈土砂流出量計測のための砂出し作業〉

（５）　その他の施策

①　市有林の活用

森林課の所管する市有林は市内に分散しており、その合計面積は約1,248ha です。当年度は先述した市民団体等への活動フィールドとしての提供や各種モニタリング調査のほか、森づくり人材研修など、私有林では実施が難しい事業で市有林を活用しました。

②　森林行政におけるデジタル技術活用報告会の開催

3月4日に「森林行政におけるデジタル技術活用報告会」を開催しました。豊田市内では、デジタル技術を活用した森林整備の取組を積極的に進めており、これまで実施した実証実験などの成果について、林業関係者等を対象に報告しました。

③ 森林環境譲与税を活用した取組

令和元年度から森林環境譲与税を活用し、以下の取組を行うことで森林整備の推進等を図りました。

〈森林環境譲与税を活用した取組（令和3年度）〉 （単位：円）

事業名	内容	実績	事業費	うち森林環境譲与税充当額
森づくり担い手育成支援費補助金	コーディネーターの雇用等に対する補助	コーディネーター:8人	21,622,413	16,194,883
新規就業者育成推進事業費補助金	新規就業者に対する育成推進事業に対する補助	林業大学校:6人	20,174,948	19,374,948
水源環境保全林整備費	水源環境保全林の間伐（伐採率40%）等を実施する豊田森林組合に対する補助	間伐:52.35ha	17,691,788	17,691,788
間伐促進費補助金（切置き分）	私有林の切置き間伐（伐採率40%）等を実施する豊田森林組合に対する市単独補助	切置き間伐:81.85ha	43,109,181	43,109,181
森づくり推進組織育成費交付金	豊田市独自の森づくり団地化のための交付金	森づくり団地面積:1,100.51ha	22,010,200	22,010,200
管理備品整備費（小学校）	小学校における地域材の机・椅子の導入	机:1,325台 椅子:974脚	16,998,905	5,440,000
管理備品整備費（中学校）	中学校における地域材の机・椅子の導入	机:722台 椅子:330脚	8,035,830	2,560,000
計			149,643,265	126,381,000

III 森づくりの構想及び基本計画等に関する業務

1 「とよた森づくり委員会」の開催

とよた森づくり委員会（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や森づくり基本計画等について協議するため、平成17年度に発足し、平成19年度には豊田市森づくり条例に位置づけられました。当委員会での協議事項の詳細については、市のホームページで公表しています。

〈森づくり委員会委員（14人）/オブザーバー（2人）【任期：令和3年7月17日～令和5年7月16日】〉

役 職	氏 名	所 属 等
委 員	赤堀 楠雄	林材ライター
	臼田 寿生	岐阜県森林研究所 森林資源部 専門研究員
	岡本 透	（国研）森林総合研究所 関西支所 グループ長
	片桐 正博	豊田森林組合 代表理事組合長
	國友 淳子	トヨタ自動車（株） 社会貢献推進部 共生社会推進室
	鈴木 辰吉	（一社）おいでん・さんそん 代表理事
	鈴木 禎一	八幡製材
	鈴木 政雄	地域森づくり会議森林所有者・専業林家
	新津 裕	岐阜県立森林文化アカデミー 講師
	西垣 貴文	西垣林業（株） 取締役副社長
	樋口 真明	（一社）ウッディーラー豊田 代表理事
	藤富 勝行	公募委員
	水嶋 淳	水嶋建設（株） 代表取締役社長
	横井 秀一	造林技術研究所 代表
オブザーバー	大村 宏	愛知県 豊田加茂農林水産事務所 林務課長
	川合 寿人	豊田森林組合 参事

注 所属は令和4年4月1日現在

〈森づくり委員会の開催状況（令和3年度）〉

開催日	場 所	協 議 事 項
7月12日	市役所東庁舎7階 大会議室4	・ 令和2年度事業実績について ・ 令和3年度予算概要について ・ 「森づくりに関わる人材の育成」の再整理について ・ 地域づくりと一体となった持続可能な森づくりを模索する取組について

第２章　施策以外の業務

Ⅰ　管理業務

１　森林法に係る各種業務

（１）　伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の8第1項の規定に基づき、森林の伐採を行う者からの事前の届出263件を受理しました（付表29参照）。

〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉

項　目	件数	面積(ha)
主　伐	175	60.07
うち転用	45	7.14
間　伐	88	546.93
計	263	607.00

（２）　森林の土地の所有者届出書の受理

森林法第10条の7の2第1項に基づき、売買や相続などによる新たな所有者からの届出180件を受理しました（付表30参照）。

〈森林の土地の所有者届出の件数と面積〉

項　目	件数	面積(ha)
売　買	37	145.62
その他	143	187.64
計	180	333.26

２　森林課所管土地・建物の管理

（１）　豊田市森林会館の管理

森林課が所管する豊田市森林会館の利用実績は、25件545人でした（付表31参照）。

（２）　市有林の管理

市有林では順次、間伐等を実施し、適切な森林管理を実施しています。また今後は市有林に関する計画を策定し、更なる森林整備、有効活用を図っていきます。また、「市有林界確定測量」も平成18年度より順次実施しています。

① 市有林間伐実績

牛地市有林の間伐1.7ha を行いました（付表32、付表33参照）。

〈市有林別の間伐施業実績（令和3年度）〉 （単位：ha･㎥･千円）

市有林	間伐区分	施業面積	事業費		素 材 生 産		備考
				うち国･県補助金	搬出量	販売額	
牛地	利用	－	－	－	－	－	
	切置き	1.70	1,201	－	－	－	
計		1.70	1,201	－	－	－	

② 市有林界確定測量業務

新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました（付表34参照）。

③ 市有林ゾーニング・活用計画の策定

市有林では各種調査研究や市民団体等による利活用ができている一方、その複雑化した市有林の活用により、通常の森林整備と各活動のバッティングなどが心配されます。そこで市では、「市有林ゾーニング・活用計画」を作成することを見据え、当年度は「市有林ゾーニング・活用計画の調査検討委託」により、先行事例調査と骨子の作成を行いました。今後は本計画を作成し、市有林の更なる有効活用と森林整備の推進を行っていきます。

（３） 林道の維持管理

市が管理する林道における崩土撤去など、45路線の修繕を実施しました（付表35参照）。

① 修繕の状況

〈市管理林道の修繕（令和3年度）〉 (単位：路線･箇所･千円)

修繕路線数	延べ修箇所	事業費	主な修繕内容
45	90	57,604	崩土撤去4件　倒木撤去10件　排水施設浚渫(しゅんせつ)3件 法面･路肩等修繕73件

② 林道パトロール

当年度は、林道パトロール業務を委託し、側溝浚渫(しゅんせつ)等の軽作業を中心に施設点検、林道パトロールといった予防監視型の管理を行いました。

II 広報業務

1　講演、視察受入等の森づくり推進活動

森づくりに関する条例・構想・基本計画を策定したことや、多くの独自施策も実施していることから、各方面より講演依頼や視察受入れなどの依頼がありました。

〈講演等の概要（令和3年度）〉　(単位：人)

開催日	主催･イベント等名称	テーマ	参加者
3月22日	スマート林業成果報告会 （愛知県、愛知県森林協会）	UAV レーザを活用した新たな境界測量手法の検討	80

〈視察の受入れの概要（令和3年度）〉

実施日	視察団体	内容
３月４日	福井県池田町	地域森づくり会議･団地について

〈印刷物等の概要（令和3年度）〉

掲載日	印刷物等の名称	タイトル等	発行者
7月14日	新聞記事	森林資源の大切さ パネルなどで解説	中日新聞社
10月19日	新聞記事	上流の森を守り 下流の災害を防ぐ	朝日新聞社

〈テレビ番組等の放映の概要（令和3年度）〉

放映日	番組タイトル	放映概要
10月25日	豊田市政番組「とよた NOW」	森づくりについて考えよう

第3章　決　算

歳入　（単位：千円）

項　目	R3	R2	差
(1)　森林環境譲与税	126,381	129,592	△　3,211
(2)　林業費負担金	423	642	△219
(3)　林業使用料	278	293	△15
(4)　林業費補助金	158,940	207,860	△48,920
(5)　林業費委託金	99,642	102,355	△2,713
(6)　土地建物貸付収入	14,092	13,857	235
(7)　利子及び配当金	324	1,712	△1,388
(8)　生産物売払収入	0	5,575	△5,575
(9)　基金繰入金	40,000	30,000	10,000
(10)　雑　入	29,985	28,082	1,903
計	470,065	519,968	△49,903

歳出　（単位：千円）

項　目	R3	R2	差
(1)　林業振興事務費	14,711	14,905	△194
(2)　市有林管理費	8,505	16,639	△8,134
(3)　林業労働力対策費	41,797	26,031	15,766
(4)　矢作川水源林対策費	41,210	49,126	△7,916
(5)　森林会館費	14,366	13,789	577
(6)　林道開設費	51,462	79,499	△28,037
(7)　林道舗装費	78,945	120,602	△41,657
(8)　林道改良費	141,493	135,596	5,897
(9)　林道修繕費	30,554	28,024	2,530
(10)　林業振興費	0	632	△632
(11)　水源環境林整備費	17,692	14,026	3,666
(12)　森林整備市民活動費	626	617	9
(13)　木材流通加工施設整備費補助金	0	3,318	△3,318
(14)　間伐材搬出利用促進費	43,310	41,220	2,090
(15)　間伐促進事業費	48,329	64,755	△16,426
(16)　高性能林業機械施業促進費	4,806	1,455	3,351
(17)　森づくり推進費	102,736	35,652	67,084
(18)　とよた森林学校費	13,904	14,476	572
(19)　林道維持管理費	30,435	15,654	14,781
(20)　人件費	107	87	20
(21)　林道整備調査費	1,672	633	1,039
(22)　あいち森と緑づくり事業等推進費	0	62,855	△62,855
(23)　過疎山村地域代行林道費	0	0	0
(24)　林道橋りょう維持管理費	15,951	11,266	4,685
(25)　地域材利用拡大推進費	15,034	6,420	8,614
(26)　林道施設現年災害復旧事業費	26,325	97,269	△70,944
(27)　林業施設過年災害復旧事業費	15,840	0	15,840
(28)　水道水源保全費	78,686	65,747	12,939
計	796,330	920,293	△123,963

参　考

Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況

1　豊田市の森林の現状（令和3年度）

〈豊田市の森林位置図〉

〈豊田市の土地利用別面積〉　(単位：ha)

区分		面積
区域		91,832
森林	総数	62,203
	国有林	1,243
	民有林	60,960
農用地		6,240
その他		23,359

資料：愛知県林務課

注 ha 未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

〈豊田市の森林率〉

〈豊田市の人工林率（民有林）〉

〈人工林の樹種別割合〉

注　豊田市の人工林率、樹種別割合は地域森林計画対象民有林の値

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域毎の森林率と人工林率〉 （単位：ha･%）

	区域面積 A	森林面積 B	森林率 B/A×100	森林のうち 人工林 C	人工林率 C/B×100
豊 田 市	91,832	62,203	68	–	–
うち民有林	–	60,960	–	–	–
うち地域森林計画対象民有林	–	60,930	–	35,026	57
豊田	29,011	9,794	34	2,750	28
藤岡	6,558	4,664	71	1,674	36
小原	7,454	5,515	74	2,425	44
足助	19,312	16,188	84	9,842	61
下山	11,418	9,532	83	7,039	74
旭	8,216	6,688	81	4,648	69
稲武	9,863	8,548	87	6,649	78

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林における林種別面積及び蓄積〉 （単位: ha･m^3･m^3/年）

		面積	蓄積	成長量
立木地	人工林	35,026	10,606,444	117,514
	天然林	23,807	3,181,531	12,869
竹林		1,140		
無立木地		957		
計		60,930	13,787,975	130,383

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林の人工林における林種別面積及び蓄積〉 （単位: ha･m^3･m^3/年）

		面積	蓄積	成長量
針葉樹	スギ	11,236	4,932,894	52,171
	ヒノキ	19,187	4,757,996	58,578
	マツ類	4,372	878,760	6,397
	その他	86	21,532	226
広葉樹		145	15,262	142
計		35,026	10,606,444	117,514

資料：愛知県林務課

2 木材価格の変化と木材生産量

〈豊田市内木材生産量〉 （単位：m^3）

年	市内木材生産量	うち豊田森林組合の取扱量	うち利用間伐の取扱量
H17	23,700	13,811	11,049
H18	24,300	14,689	8,000
H19	23,218	16,495	12,899
H20	28,900	17,660	14,035
H21	29,400	18,553	14,535
H22	33,390	18,969	16,121
H23	32,484	21,141	15,988
H24	37,399	18,704	14,700
H25	33,818	22,962	18,403
H26	39,390	26,305	19,096
H27	48,316	27,764	21,146
H28	44,827	22,392	16,006
H29	38,259	23,712	20,235
H30	51,188	33,299	27,978
R1	54,129	33,925	31,804
R2	66,438	31,532	30,954
R3	66,150	33,126	30,581

注１　市内木材生産量は年次数値、それ以外は年度数値　　資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

〈豊田原木流通センターの木材取扱量と平均単価〉

（単位：m^3・円/m^3）

年度	スギ		ヒノキ		スギ+ヒノキ+その他樹種	
	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価
H17	3,268	10,030	4,254	19,981	8,086	15,886
H18	4,228	10,300	6,588	20,590	11,154	16,458
H19	6,437	9,192	6,220	19,087	13,037	13,713
H20	5,889	9,193	7,494	17,862	13,643	13,974
H21	6,872	9,171	6,903	15,337	14,115	12,453
H22	8,179	9,856	8,559	15,379	15,726	13,513
H23	6,769	8,290	7,601	12,806	16,738	12,680
H24	7,942	10,420	7,496	16,981	15,083	10,422
H25	5,344	9,492	7,986	15,736	14,167	12,403
H26	5,527	10,060	6,769	14,568	12,583	12,314
H27	4,529	9,052	7,295	13,423	12,309	11,492
H28	4,517	9,729	3,792	11,900	8,608	10,570
H29	2,250	9,764	5,551	12,529	9,868	10,473
H30	7,451	10,578	8,223	13,125	20,257	10,578
R1	12,843	9,963	10,596	12,203	30,475	9,807
R2	12,340	8,998	11,566	10,713	33,604	8,512
R3	10,853	12,063	10,250	17,758	30,405	12,217

資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

3 森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状

（1） 組　織

〈組合員の状況〉　（単位：人）

年度	正組合員	准組合員	計
H17	8,623	6	8,629
H18	8,618	6	8,624
H19	8,620	6	8,626
H20	8,623	6	8,629
H21	8,614	6	8,620
H22	8,555	6	8,561
H23	8,545	8	8,553
H24	8,539	8	8,547
H25	8,536	8	8,544
H26	8,526	8	8,534
H27	8,494	8	8,502
H28	8,463	8	8,471
H29	8,445	8	8,453
H30	8,415	8	8,423
R1	8,392	13	8,405
R2	8,364	16	8,380
R3	8,333	16	8,349

〈常勤の役職員数〉　（単位：人）

年度	常勤役員数	常勤職員数
H17	2	52
H18	2	52
H19	2	51
H20	2	48
H21	1	50
H22	1	50
H23	1	51
H24	1	51
H25	1	46
H26	1	49
H27	2	51
H28	2	52
H29	2	50
H30	2	45
R1	2	44
R2	2	87
R3	1	91

注１　森林作業員の職員化(R2～)　　資料：豊田森林組合第17回通常総代会資料

〈豊田森林組合森林作業員の年齢別構成表〉　（単位：人）

年度	～29歳	30～39歳	40～59歳	60歳～	計
H17					102
H18					103
H19					103
H20					102
H21					112
H22					117
H23					121
H24					112
H25					96
H26					88
H27					81
H28					75
H29					80
H30					61
R1					61
R2	4	11	31	12	58
R3	2	10	29	10	51

注１　森林作業員とは、主に森林整備作業または林産事業に従事する者　　資料：豊田森林組合
注２　年齢構成はＲ２より集計

（２） 事業活動

〈販売部門〉

(単位：m^3・千円 (税抜))

項　目		取扱量	売 上	項　目		取扱量	売 上
販売事業	受託	516	6,001	林産事業	受託	32,105	386,382
	買取	504	2,955		買取	－	-

資料：豊田森林組合第17回通常総代会資料

〈加工部門〉

(単位：千円(税抜))

項　目	取扱額	項　目	取扱額	項 目	取扱額
加工製品	35,165	チップ・オガコ	151	工作物	－
杭ほか	6,368	賃挽き	－		

資料：豊田森林組合第17回通常総代会資料

〈森林整備部門〉

(単位：千円(税抜))

項 目		売 上
森林整備	森林整備・治山・林道等	480,279
利用事業	調査・とよた森林学校・森林整備支援交付金等	374,273
購買事業	苗木・肥料・チェーンソー等	37,255

資料：豊田森林組合第17回通常総代会資料

〈とよた森林学校〉

（単位：千円）

項 目	受託額
とよた森林学校運営業務委託	7,362

II 令和3年度の産業部森林課の組織と当時の主な業務

森　林　課
（課　長（1人）
副課長（1人）
主　幹（1人））

- 森づくり・地域材担当（6人）
  会計任用　（1人）
  - 間伐促進に関すること
  - 団地化に関すること
  - 矢作川水源基金助成事業に関すること
  - あいち森と緑づくり事業に関すること
  - 架線系新作業システムに関すること
  - 高性能林業機械に関すること
  - 森林 GIS の運営・管理に関すること
  - 林地台帳に関すること
  - 森林組合第4次中期経営計画に関すること
  - 森林経営計画の認定に関すること
  - 東海北陸フォーラムに関すること
  - 森林環境譲与税に関すること
  - 木質バイオマスに関すること
  - 木材利用促進に関すること
  - （一社）ウッディーラー豊田の支援に関すること
  - テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金に関すること
- 林務・人材育成担当（5人）
  - 市有林の管理・施業に関すること
  - 足助支所との調整に関すること
  - 森林課施設・財産管理に関すること
  - 課の予算・庶務に関すること
  - 森づくり委員会に関すること
  - 森づくり白書に関すること
  - 伐採届に関すること
  - 違法伐採の指導・観察に関すること
  - 治山事業に関すること
  - 森林ボランティアの支援に関すること
  - 森林保全ガイドラインの運用に関すること
  - 亜炭鉱に関すること
  - 林業振興会議に関すること
  - 人材育成（新規就業者）に関すること
  - 森林文化アカデミー研修に関すること
  - とよた森林学校・出前講座に関すること
  - 高性能林業機械の補助に関すること
  - 各種モニタリング調査に関すること
- 林道担当（5人）
  - 路網整備（林道・作業道）に関すること
  - 災害対応に関すること
  - 林道設計 ICT 化に関すること
  - 林道使用許可に関すること
  - 林道維持管理（パトロール委託）に関すること
  - 中核製材工場用地管理に関すること

付　表

付表 1 間伐実施面積（年度別）

区 分			H17	H18	H19	←第１次計画期間→					
						H20	H21	H22	H23	H24	計
県事業	保安林本数調整伐事業		347	346	421	319	234	228	167	83	1,031
	あいち森と緑づくり事業					5	205	416	436	506	1,568
	計		347	346	421	324	439	644	603	589	2,599
市事業	間伐促進事業	国県補助　市上乗せ	418	449	403	431	456	266	113	127	1,393
		市単独	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		水道水源林									
	矢作川水源基金		109	215	216	197	218	157	163	139	874
	水源環境林		64	110	76	97	99	33	30	24	283
	巻枯らし等補助事業		–	–	–	–	–	6	6	2	14
	水道水源特別区域森づくり事業		–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計		591	774	695	725	773	462	312	292	2,564
その他（国県補助　市上乗せなし）			–	10	8	6	34	21	24	91	176
その他（ボランティアなど）											
第３次基本計画対象間伐面積			938	1,130	1,124	1,055	1,246	1,127	939	971	5,339

計画対象外	市有林施業	34	20	35	108	100	56	75	65	404
	県分収林	254	151	106	87	108	179	322	44	740
	県有林	43	47	14	26	23	42	46	32	169
	計	331	218	155	221	231	277	443	141	1,313
市内間伐実績面積		1,269	1,348	1,279	1,276	1,477	1,404	1,382	1,112	6,652

注１　間伐促進事業（国県補助　市上乗せ)は、造林事業の上乗せ補助分。（市単独）は、市一般会計で（水道水源林）は水道水源保全特別会計の市単独補助事業。

２　市有林事業に市外に所在する市有林（黒田湖畔段戸記念林及び学校部分林）の実績は含まない。

３　その他は、国県補助又は単独で実施した間伐で市の上乗せ等の補助を受けていないもの。ボランティアなど平成30年度集計から除外した。

４　ha 未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

（単位：ha）

←第２次計画期間→						←第３次計画期間－						合計
H25	H26	H27	H28	H29	計	H30	R1	R2	R3	R4	計	
97	76	79	83	76	411	39	48	39	41		168	2,724
581	391	356	431	408	2,167	414	299	381	408		1,501	5,235
677	467	435	515	484	2,578	453	347	420	449		1,669	7,960
80	119	91	118	108	516	51	36	98	9		194	3,373
25	106	49	67	0	247	208	89	132	82		511	757
		100	75	86	261	86	79	83	98		347	608
155	119	89	174	204	741	40	100	45	57		241	2,396
20	20	20	19	12	91	10	12	32	52		107	730
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	14
－	－	－	－	－	－	－	22	30	40		92	92
280	364	348	452	410	1,854	395	338	421	337		1,492	7,970
14	10	10	13	75	122	112	136	78	156		483	997
23	56	51	67	(44)	197	(50)	(48)	(102)	(40)		(240)	
995	897	845	1,046	968	4,751	960	821	919	943		3,644	16,926

39	31	15	1	1	87	14	8	6	2		29	609
74	83	33	65	99	354	63	38	23	41		166	1,770
30	45	20	20	31	146	32	32	0	45		108	528
143	159	68	86	131	587	109	78	29	88		303	2,907
1,138	1,056	913	1,132	1,099	5,338	1,069	900	948	1,030		3,947	19,834

付表 2 市間伐補助事業一覧表

<table>
<tr><th>事業名</th><th>作業種</th><th>補助対象経費</th><th>間伐率</th><th>補助率</th></tr>
<tr><td rowspan="4">間伐促進事業
（非公共造林
市上乗せ有）
（市単独）
（水道水源林）</td><td rowspan="3">切置き間伐</td><td rowspan="3">愛知県の定める森林造成等補助金交付要綱、造林事業実施要領及び小規模森林育成事業実施要領に準じて行う間伐実施に要する経費</td><td>30%以上</td><td>9/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内40%～60%</td><td rowspan="2">10/10以内</td></tr>
<tr><td>針広混交林誘導林
40%～60%</td></tr>
<tr><td>間伐材生産</td><td>愛知県の定める林業振興対策事業補助金のうち次世代林業基盤づくり事業に基づき実施する間伐材生産に要する経費</td><td>団地内20%以上</td><td>1 /10以内</td></tr>
<tr><td>巻枯らし間伐</td><td>巻枯らし間伐に要する経費</td><td>針広混交林誘導林
40%～60%</td><td>10/10以内</td></tr>
<tr><td rowspan="5">矢作川水源林
対策事業</td><td rowspan="4">切置き間伐</td><td rowspan="5">(公財)矢作川水源基金が定める水源林地域対策事業業務方法書及び水源林対策事業助成金交付要領に準じて行う間伐に要する経費</td><td>20%～30%</td><td>6/10以内</td></tr>
<tr><td>30%以上</td><td>9/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内40%以上</td><td>10/10以内</td></tr>
<tr><td>針広混交林40%以上</td><td>10/10以内</td></tr>
<tr><td>利用間伐</td><td>20%以上</td><td>6/10以内</td></tr>
</table>

付表 3 地域森づくり会議・団地の設置状況（地区別・年度別）

(単位：会議・団地・ha)

年度		豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
H19	会議数	–	–	1	9	4	1	15
	団地数	–	–	–	–	–	–	–
	面　積	–	–	–	–	–	–	–
H20	会議数	2	2	11	7	3	2	27
	団地数	2	1	4	4	4	5	20
	面　積	16.45	7.10	43.33	82.24	48.64	110.26	308.02
H21	会議数	2	2	6	–	6	3	19
	団地数	2	2	8	18	10	8	48
	面　積	43.67	28.69	141.32	245.26	140.82	182.70	782.46
H22	会議数	–	1	2	1	3	2	9
	団地数	2	3	13	25	9	11	63
	面　積	17.06	64.90	244.71	403.16	127.32	251.02	1,108.17
H23	会議数	–	1	1	–	1	2	5
	団地数	2	2	16	13	11	13	57
	面　積	19.21	28.23	265.37	282.18	169.16	402.51	1,166.66
H24	会議数	–	1	1	–	–	3	5
	団地数	–	–	11	13	9	12	45
	面　積	–	–	198.75	320.24	208.57	345.26	1,072.82
H25	会議数	–	–	1	–	1	–	2
	団地数	1	1	15	15	12	12	56
	面　積	18.45	15.91	262.77	342.63	204.59	385.25	1,229.60
H26	会議数	–	3	2	1	2	–	8
	団地数	1	–	11	13	10	12	47
	面　積	16.25	0.13	180.42	317.89	202.85	372.79	1,090.33
H27	会議数	–	1	3	1	3	–	8
	団地数	1	3	12	9	4	13	42
	面　積	22.39	33.05	288.37	310.36	124.58	275.63	1,054.38
H28	会議数	–	1	3	1	2	–	7
	団地数	1	3	15	9	8	12	48
	面　積	12.28	51.85	334.49	367.59	166.29	313.10	1,245.60
H29	会議数	–	–	–	–	2	–	2
	団地数	–	3	16	8	11	10	48
	面　積	–	42.92	244.0	277.84	257.64	275.96	1,098.36
H30	会議数	–	1	1	–	–	–	2
	団地数	–	3	7	6	8	12	36
	面　積	–	29.98	209.41	180.54	189.41	302.79	912.13
R1	会議数	–	1	–	–	1	–	2
	団地数	–	1	9	13	11	10	44
	面　積	–	25.31	208.56	333.41	194.24	300.76	1,062.28
R2	会議数	–	–	–	–	1	–	1
	団地数	1	1	11	9	7	9	38
	面　積	17.33	15.43	292.09	321.95	144.47	313.04	1,104.31
R3	会議数	–	–	1	–	–	–	1
	団地数	1	2	6	10	6	10	35
	面　積	17.92	27.10	240.34	312.62	163.35	339.18	1,100.51
計	会議数	4	14	33	20	29	13	113
	団地数	14	25	154	165	120	149	627
	面　積	201.01	370.60	3,153.93	4,097.91	2,341.93	4,170.25	14,335.63

付表 4 森づくり団地設置状況（令和 3 年度）

（単位：ha）

区	会議名	団地名	認定面積
豊田	日明	丸塚・中道・田向・東長入・小坂	17.92
	計	1 団地	17.92
藤岡	北一色	茂吉ケ峰	12.44
	計	1 団地	12.44
小原	李	青木	(追)4.99
	北篠平町	川向	9.67
	計	1 団地	14.66
足助	新盛	新盛第 4	(追)0.69
	西樫尾	上半ノ木、松下	15.18
	上八木	坂・下貝戸	18.94
	五反田	柿ヶ坪・栃平	(追)0.42
	下平	奥山・宝嶺	26.35
	東大見	奥山東	(追)4.60
		奥山西	(追)5.00
	大多賀	三浦	(追)1.52
		藤ケタワ・椹木谷	24.49
		隠屋	56.26
		安城農林第一演習林団地	86.89
	計	6 団地	240.34
旭	田津原	河合・惣作	(追)0.86
		明ケ沢	17.69
	太田	太田第 1	(追)0.10
		太田第 3	(追)3.21
	小滝野・閑羅瀬	松根南	26.24
	杉本	大垣内	(追)1.68
		白石北	15.69
	上切	上切東	(追)0.11
		上切中	20.38
	坪崎	上知祖・イヲツ中	(追)5.85
		イヲツ北・ヒヨ毛	43.60
	余平	梶呂畑	27.94
	計	6 団地	163.35
下山	羽布	赤狐子・柿田団地	31.79
	阿蔵	保戸嶋	47.41

注 1 （追）は、既設の団地に追加したもの。団地数にはカウントしない。

地区	会議名	団地名	認定面積
下山	東大林町	鎌地倉 1	(追)0.52
		大田	(追)0.13
		大平	(追)1.70
		毛呂・松下	(追)0.40
		土川・桑原	19.17
	野原町	吉平北	(追)1.20
	柵ノ沢	第 4	(追)1.13
	田平沢	外山	18.98
	立岩	カイタガ・ヤサキ	(追)0.65
	梨野	向田、山口	12.60
		大下り・タキノ入	38.07
	宇連野	柳戸・ウネ畑	48.25
		ウネ畑中	39.16
	栃立	井戸入・丸山・向貝戸	15.44
	平瀬	項沢・タキザワ・下ノ前	31.16
	蘭	分里・新田	(追)2.27
	小松野	尾鷲・由ヶ入	(追)2.59
	計	10 団地	312.62
稲武	大野瀬	タシロ・長トロ	35.24
		オオタケ	15.92
	押山	上ミ大野・下モ大野	(追)1.84
		東平・塩沢・三梅	37.23
	野入	下ノ入	(追)17.56
		高トッケ	59.80
	稲橋	クサカリ場・カンバヤケ・チウソ・深沢	(追)2.56
		月ケ平 82	44.96
	中当	大林	(追)5.69
		炭焼・サカイノ沢	(追)2.47
		ヒカゲ第 2	27.16
	夏焼	コヤノサワ・シホノタワ	24.84
	黒田	黒田ダム周辺	(追)2.02
		仲根・北貝戸	15.87
		笹形	30.45
	川手	オオハタ	15.57
	計	10 団地	339.18
合計		35 団地	1,100.51

付表 5 あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）等の候補地とりまとめ状況

（単位：ha）

年度	あいち森と緑づくり 森林整備事業（人工林）	保安林本数調整伐事業
H21	100.78	
H22	316.93	
H23	403.36	
H24	569.29	
H25	514.08	
H26	266.72	
H27	314.02	
H28	328.06	
H29	186.73	23.33
H30	193.27	16.74
R1	354.40	23.54
R2	481.72	22.33
R3	497.45	23.91
計	4,526.81	109.85

付表 6 森林経営計画認定件数及び面積

（単位：件･ha）

年度		豊田	小原･藤岡	足助	下山	旭	稲武	計
H25	件数	–	–	5	3	3	3	14
	面積	–	–	217.27	132.19	228.57	91.13	669.16
H26	件数	–	–	–	3	4	2	9
	面積	–	–	–	110.93	98.09	96.85	305.87
H27	件数	–	–	2	3	2	2	9
	面積	–	–	84.23	112.07	69.12	99.99	365.41
H28	件数	–	–	3	2	4	1	10
	面積	–	–	180.61	177.68	177.91	29.58	565.78
H29	件数	–	–	4	3	1	2	10
	面積	–	–	1,166.74	237.46	46.19	82.35	1,532.74
H30	件数	1	–	–	2	1	2	6
	面積	36.74	–	–	172.38	35.56	86.78	331.46
R1	件数	–	–	3	–	2	2	7
	面積	–	–	170.47	–	134.35	76.67	381.49
R2	件数	–	1	4	5	1	3	14
	面積	–	35.88	163.44	157.61	24.61	99.78	481.32
R3	件数			1	5	1	4	11
	面積			36.78	177.59	31.83	171.72	417.92
計	件数	1	1	22	26	19	21	90
	面積	36.74	35.88	2,019.54	1,277.91	846.23	834.85	5,051.15

付表 7 高性能林業機械施業促進補助金

(単位：千円)

年度	高性能林業機械導入事業	対象機種	高性能林業機械更新事業	対象機種	高性能林業機械施業促進事業	対象機種(リース)
H23	–	–			999	–
H24	–	–			926	–
H25	–	–			922	–
H26	–	–			507	–
H27	–	–			706	–
H28	–	–			1,055	–
H29	–	–	3,700	プロセッサ１台	1,055	–
H30	17,385	プロセッサ１台 スイングヤーダ１台 フォワーダ１台	3,580	プロセッサ１台	1,405	–
R1	–	–	–	–	1,406	–
R2	–	–	–	–	1,456	–
R3	3,870	フェラーバンチャ１台	–	–	936	プロセッサ１台

付表 8 豊田市林道一覧（令和3年度）

（単位：路線･m）

地区名	管理者	路線数	延 長	舗装路線数	舗装延長
豊田	市	19	31,523	14	28,286
	組合	3	1,684	–	–
	県	–	–	–	–
	計	22	33,207	14	28,286
藤岡	市	20	22,381	11	14,886
	組合	–	–	–	–
	県	1	1,833	1	1,833
	計	21	24,214	12	16,719
小原	市	23	38,539	20	35,019
	組合	–	–	–	–
	県	–	–	–	–
	計	23	38,539	20	35,019
足助	市	44	76,543	27	47,305
	組合	–	–	–	–
	県	3	11,987	1	3,287
	計	47	88,530	28	50,592

地区名	管理者	路線数	延 長	舗装路線数	舗装延長
下山	市	53	121,603	39	73,758
	組合	–	–	–	–
	県	–	–	–	–
	計	53	121,603	39	73,758
旭	市	29	49,895	12	29,941
	組合	–	–	–	–
	県	1	1,919	–	–
	計	30	51,814	12	29,941
稲武	市	48	100,940	33	60,258
	組合	4	5,600	2	440
	県	–	–	–	–
	計	52	106,540	35	60,698
計	市	236	441,424	156	289,453
	組合	7	7,284	2	440
	県	5	15,739	2	5,120
	計	248	464,447	160	295,013

付表 9 林業専用道(規格相当)開設事業（令和3年度市施工）

(単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	国･県補助金	市費	受益者負担
–	–	–	–	–	–	–	–

付表 10 林道開設事業（令和3年度市施工）

（単位：m･%･千円）

地区	路線名称	延長	幅員	延長			R３ 事業費	県 補助金	市費	受益者 負　担
				R3	開設済	進捗率				
足助	大日影支線	700	4.0	36	700	100	19,811	13,000	6,607	204
稲武	野入立野線	1,205	4.0	0	880	73	20,521	13,200	7,101	220
計				36			40,332	26,200	13,708	424

付表 11 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工）

（単位：m･%）

年度	下山	稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線	
～H19	–	6,046	6,046
H20	–	445	445
H21	–	447	447
H22	–	415	415
H23	–	–	–
H24	–	303	303
H25	–	331	331
H26	–	464	464
H27	–	395	395

年度	下山	稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線	
H28	813	–	813
H29	168	–	168
H30	311	72	383
R1	404	80	484
R2	19	34	53
R3	398	59	457
延長計	2,113	9,091	11,204
計画	10,600	9,800	
進捗率	20	93	

付表 12 間伐材搬出路網【作業道】開設事業（令和3年度豊田森林組合施工）

(単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	市補助金	受益者負担
足助	宮脇1号線	222	3.0	2,194	2,128	66
下山	立岩カイタガ線	431	3.0	4,278	4,150	128
計		653		6,472	6,278	194

注１　測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない

付表 13 矢作川水源林対策事業【作業道】開設事業（令和3年度豊田森林組合施工）

(単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	水源基金	市補助金	受益者負担
下山	分里線	1,378	3.0	13,296	6,953	5,944	399
計		1,378		13,296	6,953	5,944	399

注１　測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 14 間伐材搬出路網（令和3年度豊田森林組合施工） （単位：m･千円）

地区	路線名称	延長	事業費	市補助金	受益者負担
小原	樽俣崩下線	1,443	2,165	1,443	722
	小原大洞線	618	927	278	649
足助	平沢･千田線	1,515	2,273	1,515	758
	御内大洞線	1,416	2,124	1,416	708
	五反田万場栃平線	999	1,499	999	500
下山	小松野蔵掛線	2,033	3,050	2,033	1,017
	東大林大平線	3,638	5,457	3,638	1,819
	阿蔵蓬生線	2,547	3,821	2,547	1,274
	梨野蜂熊線	1,727	2,591	1,727	864
	和合才ノ神線	1,224	1,836	1,224	612
	立岩ヒラクリ線	2,402	3,603	2,402	1,201
	宇連野物見石線	2,336	3,504	2,336	1,168
	野原吉平線	1,784	2,676	1,784	892
	梨野カシボタ線	811	1,217	811	406
旭	太田直道線	535	803	535	268
	杉本沢尻線	1,181	1,772	1,181	591
稲武	稲橋馬野ホソノ線	2,259	3,389	2,259	1,130
	御所貝津･桑原線	2,850	4,275	2,850	1,425
	押山下モ大野線	1,109	1,664	1,109	555
	押山奥畑タワガネ線	619	929	619	310
	中当大林線	1,011	1,517	1,011	506
計		34,057	51,092	33,717	17,375

注１　幅員は2.5m。

付表 15 間伐材搬出路網（令和3年度自力施工） （単位：m･千円）

地区	施工場所	延長	事業費	市補助金	受益者負担
足助	千田町地内	192	115	35	81
足助	明川町地内	1,952	1,171	351	820
下山	大沼町地内	699	419	126	294
足助	怒田沢町地内	875	525	158	368
足助	東大見町地内	433	260	78	182
足助	東大見町地内	640	384	115	269
旭	加塩町地内	80	48	14	34
足助	御内町地内	538	323	97	226
下山	蘭町地内	1,189	713	214	499
計		6,598	3,958	1,188	2,773

注１　幅員は1.5m、補助率は3/10以内。

付表 16 林道改良及び舗装実績

（単位:m）

年度	改良	舗装	年度	改良	舗装	年度	改良	舗装
H17	757	5,931	H23	816	1,900	H29	1,472	2,939
H18	870	5,140	H24	303	1,647	H30	1,281	3,091
H19	708	5,666	H25	808	1,780	R1	940	3,007
H20	770	6,198	H26	1,227	1,429	R2	657	4,240
H21	1,436	4,659	H27	467	2,552	R3	487	3,135
H22	877	4,304	H28	316	3,884			

付表 17 林道改良事業（令和3年度市施工）

（単位：m･千円）

地区	路線名称	延長	主な工種	事業費	県補助金	市費
足助	明和２号線	29	路肩擁壁	40,158	21,000	19,158
	亀割線	113	法面改良	10,417	6,180	4,237
下山	峯山線	23	法面改良	9,365	5,400	3,965
	尾根線	197	法面改良	23,222	13,800	9,422
旭	浅野線	39	法面改良	14,813	8,700	6,113
稲武	野入月ヶ平線	25	法面改良	13,738	8,160	5,578
	九沢線	61	法面改良	18,834	10,800	8,034
		487		130,547	740,040	56,507

付表 18 林道舗装事業（令和3年度市施工）

（単位：m･%･千円）

地区	路線名称 全体計画	延長	舗装済延長	進捗率	事業費	県補助金	市費
下山	物見石線 L3,480×W3.6	1,220	3,136	90	27,345	17,800	9,545
旭	浅野線 L7,178×W4.0～5.0	879	7,178	100	19,994	12,100	7,894
稲武	富永２号線 L1,371×W3.0	486	1,371	100	13,571	8,600	4,971
	名倉道線 L3,697×W3.6～4.0	550	1,663	35	18,036	11,800	6,236
計		3,135			78,946	50,300	28,646

付表 19 林業用路網の開設延長

(単位：km)

年度	林 道	林業専用道	作業道				搬出路			合 計
			単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
H17	3.44	–	0.88	2.31	–	3.19	1.20	–	1.20	7.83
H18	3.92	–	0.52	2.71	–	3.23	2.90	–	2.90	10.05
H19	3.03	–	0.00	2.58	–	2.58	2.68	2.39	5.07	10.68
H20	3.33	–	2.41	3.12	–	5.53	9.80	2.82	12.62	21.48
H21	2.09	–	2.42	2.50	–	4.92	11.49	2.82	14.22	21.23
H22	2.57	–	3.71	3.38	–	7.09	12.08	3.01	15.09	24.75
H23	1.07	–	3.96	2.52	1.24	7.72	10.30	2.33	12.63	21.42
H24	0.89	2.38	2.40	2.96	–	5.36	10.93	1.15	12.08	20.71
H25	0.90	0.78	1.97	2.60	–	4.57	8.97	0.75	9.72	15.97
H26	0.97	2.32	2.07	2.33	–	4.40	14.72	0.24	14.96	22.65
H27	0.57	0.77	1.99	2.42	–	4.42	20.73	–	20.73	26.49
H28	0.98	–	1.17	2.16	–	3.33	27.28	–	27.28	31.59
H29	0.11	1.33	1.45	2.20	–	3.69	34.52	–	34.52	39.65
H30	0.38	–	1.49	2.85	–	4.34	37.83	1.55	39.38	44.10
R1	0.59	1.04	0.77	2.68	–	3.45	38.15	1.76	39.91	44.99
R2	0.09	0.18	0.52	3.12	–	3.64	34.91	1.50	36.41	40.32
R3	0.49	–	0.65	1.38	–	2.52	40.66	–	40.66	43.18

注１　単市作業道は、H17～H19は造林事業、H20からは間伐材搬出路網開設事業の作業道開設事業を記載

付表 20 市公共事業の地域材使用量

(単位：m^3)

年度	建設用資材	建築等用材	チップ材	計
H17	129.32	272.46	15.30	417.08
H18	193.55	89.27	165.20	448.02
H19	271.73	217.04	0.24	488.76
H20	290.73	101.29	316.29	708.21
H21	80.32	19.06	1.84	101.22
H22	145.16	89.93	93.55	328.64
H23	72.77	34.03	0.00	106.80
H24	57.91	166.85	2,278.00	2,502.76
H25	501.35	104.36	25.40	631.11
H26	42.70	45.39	67.70	155.79
H27	14.28	1,073.27	32.55	1,120.10
H28	9.84	39.75	0.00	49.59
H29	51.78	166.02	164.10	381.90
H30	41.80	73.30	0.00	115.10
R1	11.51	71.71	2.00	85.23
R2	33.25	191.52	0.00	224.77
R3	132.39	149.33	0.00	281.72

資料：技術管理課

付表 21 緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績

（単位：人）

年度	採用者数	在籍者数
H15	15	5
H16	10	3
H17	4	2
H18	6	1
H19	9	2
H20	10	2
H21	19	4
H22	7	0

年度	採用者数	在籍者数
H23	6	3
H24	3	0
H25	3	1
H26	3	2
H27	2	0
H28	2	1
H29	4	2
H30	3	2

年度	採用者数	在籍者数
R1	4	2
R2	2	2
R3	2	2
計	114	36

資料：豊田森林組合

付表 22 森づくり団地化推進員設置状況等

（単位：人・円）

年度	人数	補助金額	新規就業者数※
H21	5	8,183	－
H22	6	9,711	1
H23	7	9,750	1
H24	7	10,786	2
H25	8	11,500	1
H26	8	11,966	3
H27	8	14,935	2

年度	人数	補助金額	新規就業者数※
H28	8	17,971	1
H29	8	17,971	1
H30	8	17,769	1
R1	8	17,974	－
R2	8	17,321	－
R3	8	21,623	－

※ 団地化推進員を経て、豊田森林組合の職員又は作業員に就職した人数。

付表 23 年度別「豊田市森林 GIS 保守・運用業務」事業費

(単位：千円)

年度	事業費	事業内容
H19	2,993	森林ＧＩＳシステムの基本設計
H20	9,765	基本システムの導入及び業務支援システムの詳細設計
H21	29,715	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの開発導入
H22	2,699	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H23	4,014	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 市町村森林整備計画の改正に係るゾーニングの資料作成
H24	4,250	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H25	3,720	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H26	3,348	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	19,440	運用環境の再構築、必要な機器・ソフトウェア調達及びプログラム調整
H27	4,129	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	17,280	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（豊田・藤岡・小原・足助）
H28	3,672	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	20,520	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（旭・稲武・下山）
H29	5,512	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H30	6,806	林地台帳構築、団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R1	4,071	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R2	3,549	
R3	3,630	

付表 24 人材育成コース受講者数

（単位：人）

講座名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
山主森林経営講座	11	10	10	9							
楽しい山づくり入門講座					10	7	10	11	7	8	5
森林観察リーダー養成講座	9	13									
森林観察リーダー入門講座			13	10	10	10	8	13	13	13	22
間伐ボランティア初級講座	20	20	19	20	17	12	13	18	16	20	18
セミプロ林業作業者養成講座	10	10	11	12	11	10	7	8			
山主自力間伐講座	12	12	11	12	7	10	11	12	11		
計	62	65	64	63	55	49	49	62	47	41	45

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 25 森の応援団コース受講者数

（単位：人）

講座名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
森林セミナー	46	41	42	39	41	40	43	43	38		
間伐してベンチをつくり寄付しよう	13	12	13	10	11	12					
森林と災害							19	14	19	9	9
矢作川源流の山を歩こう	22	21									
矢作川源流の森ウォーキング			22	19	21	21	20	21	21	15	17
木づかいいろいろ発見	20	21	21								
森あそび入門	11										
夏休み昆虫観察会		29	24	19	21	27	15	26	19		
初めての樹木分類教室	25										
森林の草花調べ		22	20	22	22	22					
森林の樹木調べ（入門コース）							20	21	17		
初めての間伐体験	20	19	10								
レッツトライ　初めての間伐				11							
レッツトライ　木こり体験					14						
山の日は木こり体験						17	10	6			
森づくりの日は木こり体験						8					
森づくりの日は森林ウォーキング							15	19	17		
どんぐり博士養成講座	20										
森林調査いろいろ学習会		16	18	10							
レッツトライ　森の健康診断					12						
森林の動物観察		20	19								
森と人の文化史				20	17	21	22	22	21		
森林の不思議調べ				20	21	21					
森が紡ぐ和のこころ							21	17			
自然の仕組み探検隊						20	22	22		18	
森づくりの基礎技術										18	
計	177	201	189	170	180	209	207	211	152	60	26

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 26 出前講座の開催 (単位：団体･回･人)

年度	申込み 団体数	延べ 開催数	延べ 参加者数
H23	20	49	1,509
H24	27	54	1,971
H25	19	37	1,321
H26	22	37	962
H27	25	38	1,193
H28	23	42	1,154
H29	24	36	922
H30	21	35	864
R1	3	4	320
R2	5	14	310
R3	7	15	553

付表 27 森林ボランティア始動支援事業 (単位：団体･人･円)

年度	団体数	構成員数	補助金 交付額
2	2	43	200,000
H23	2	43	200,000
H24	2	42	175,000
H25	2	36	125,000
H26	1	15	75,000
H27	1	17	75,000
H28	2	23	125,000
H29	2	19	125,000
H30	2	22	150,000
R1	2	24	150,000
R2	2	24	125,000
R3	1	14	50,000

付表 28 森林ボランティア安全帯策事業 (単位：団体･人･円)

年度	団体数	構成員数	補助金 交付額
H22	7	124	316,675
H23	8	142	348,355
H24	8	164	373,065
H25	9	154	430,710
H26	10	157	424,870
H27	13	191	548,740
H28	12	174	530,115
H29	11	175	468,345
H30	13	187	543,790
R1	12	171	498,135
R2	12	169	491,705
R3	14	211	576,365

注１　補助率はボランティア保険料の1/2以内

付表 29 伐採及び伐採後の造林の届の件数と面積

（単位：件・ha）

年度	件数・面積						合計	
	主伐		うち転用		間伐		件数	面積
H22	235	48.16	65	22.49	557	854.06	792	902.22
H23	540	29.00	125	8.59	610	456.33	1,150	485.33
H24	1,527	169.63	1,005	133.72	179	60.91	1,706	230.54
H25	1,127	116.66	706	83.89	1,842	642.05	2,969	758.71
H26	210	41.17	73	14.72	249	560.10	459	601.27
H27	207	63.57	60	36.77	222	463.36	429	526.93
H28	243	129.60	82	68.45	250	588.49	493	718.09
H29	192	63.98	43	17.82	192	432.26	384	496.24
H30	174	48.20	47	7.68	127	599.63	301	647.83
R1	264	69.90	69	12.49	139	573.90	403	643.80
R2	234	56.77	36	4.93	101	587.68	335	644.45
R3	175	60.07	45	7.14	88	546.93	263	607.00

付表 30 森林の土地の所有者届の件数と面積

（単位：件・ha）

年度	件数・面積				合計	
	売買		その他		件数	面積
H26	20	12.61	56	106.61	76	119.22
H27	56	60.34	39	24.45	95	84.79
H28	18	8.59	94	94.19	112	102.78
H29	23	10.57	92	77.63	115	88.20
H30	16	105.51	113	210.50	129	316.01
R1	36	26.89	106	132.98	142	159.87
R2	30	152.09	122	242.84	152	394.93
R3	37	145.62	143	187.64	180	333.26

付表 31 豊田市森林会館の利用件数と利用者数

(単位：件・人)

項目＼年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用件数	32	55	66	33	50	38	42	59	43	37	23	25
利用者数	1,207	1,320	1,766	1,161	1,355	1,054	983	962	763	1,104	417	545

付表 32 市有林で実施した間伐の実績 (単位：箇所･ha･千円)

年度	面積	事業費	うち国県補助金	間伐			皆伐	支障木伐採	備考
				切置き	利用	巻枯らし			
H17	38.43	15,635	206	34.79	3.64	–	–	–	
H18	59.01	45,676	4,241	27.69	31.32	–	–	–	
H19	37.30	31,877	10,328	16.58	16.04	3.32	1.17	0.19	
H20	91.98	44,222	4,673	44.21	43.13	4.55	–	0.09	
H21	102.03	36,222	7,141	79.16	19.38	1.98	1.51	–	
H22	59.05	24,543	5,011	43.65	13.66	–	1.74	–	
H23	75.23	31,474	19,081	61.61	13.62	–	–	–	
H24	69.52	28,635	6,724	51.20	18.32	–	–	–	
H25	38.81	11,484	1,568	33.00	5.81	–	–	–	
H26	30.86	12,296	–	30.22	0.64	–	–	–	
H27	17.40	3,863	–	15.40	–	–	–	2.00	
H28	1.03	2,106	–	1.03	–	–	–	–	一部支障木伐採含む
H29	0.60	421	–	–	0.60	–	–	–	
H30	13.68	16,447	–	4.30	9.38	–	–	–	
R1	8.00	11,800	–	1.06	6.94	–	–	–	支障木伐採を除く
R2	5.83	6,741	–	–	5.83	–	–	–	
R3	1.70	1,201	–	1.70	–	–	–	–	

※竹林整備を除く

付表 33 市有林の素材販売実績 (単位：千円･m^3)

年度	販売額	販売材積	皆伐	間伐	支障木
H17	5,068	330	–	209	120
H18	38,423	2,590	–	2,232	206
H19	27,664	2,173	268	1,787	118
H20	33,525	2,862	–	2,862	–
H21	19,520	1,634	405	1,319	–
H22	27,417	1,776	414	1,362	–
H23	19,144	1,601	–	1,601	–
H24	15,524	1,592	–	1,592	–
H25	1,679	167	–	167	–
H26	557	65	–	65	–
H27	–	–	–	–	–
H28	112	38	–	–	38
H29	485	46	–	46	–
H30	14,217	1,220	–	1,220	–
R1	9,297	715	–	715	–
R2	5,575	506	–	506	–
R3	–	–	–	–	–

付表 34 市有林界確定測量業務

(単位：m^2・件・千円)

年度	市有林名	台帳面積	実測面積	立会件数	事業費
H18	二タ瀬	183,971	334,718	18	9,135
H19	黒坂②	305,690	278,697	17	10,080
	田螺池②	59,680	59,413	22	
H20	大洞	529,160	601,864	25	16,275
H21	大多賀	465,578	542,300	11	13,125
H22	長坂	113,327	357,739	26	11,340
	御蔵	74,019	176,209	24	5,985
H23	奥山	300,395	535,248	17	5,454
H24	月原	685,800	691,770	14	17,315
	石楠	33,242	33,242	17	
H25	三ツ足	437,118	437,089	–	10,215
	桑原	4,545	11,098	4	
H26	四ッ松	170,669	375,482	7	10,282
	中之御所	47,742	76,540	28	3,913
H27	総山	85,701	299,370	20	13,780
	チソ	117,764	114,771	20	
H28	上川口	69,297	143,045	4	7,636
	稽古屋	9,369	28,561	3	
H29	木瀬	148,000	145,525	9	9,093
	小滝野	44,500	27,995	5	
H30	東大見	104,878	116,300	11	6,199
R1	西市野々	63,175	63,558	13	4,935
R2	–	–	–	–	–
R3	–	–	–	–	–

※ R2、R3は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

付表 35 市管理林道の修繕実績

(単位：路線･箇所･千円)

年度	修繕路線数	延べ修箇所	事業費	主な修繕内容
H22	100	145	53,437	崩土撤去4件 路肩保護9件 法面補修5件 路面補修16件 排水処理6件 施設設置93件
H23	88	121	38,661	崩土撤去14件 路肩･法面修繕20件 路面補修25件 排水処理8件 施設設置47件 支障物除去5件
H24	58	88	32,421	崩土撤去2件 路肩修繕12件 法面補修4件 路面補修20件 擁壁修繕1件 施設設置38件 排水処理11件
H25	87	126	61,776	崩土撤去等23件 路肩修繕31件 法面補修8件 路面補修36件 施設設置20件 排水施設8件
H26	49	69	47,094	崩土撤去等5件 路肩修繕15件 法面補修11件 路面補修16件 施設設置16件 排水施設6件
H27	35	40	29,482	崩土撤去等13件 路面補修16件 法面補修4件 排水施設7件
H28	32	89	22,044	崩土撤去等28件 路肩修繕14件 法面補修13件 路面補修30件 排水施設4件
H29	32	66	24,788	路肩修繕15件 法面補修12件 路面補修28件 安全施設1件 排水施設10件
H30	110	162	70,635	崩土撤去29件 路肩修繕41件 法面補修13件 路面補修25件 排水施設5件 安全施設1件 倒木撤去47件
R1	73	76	59,681	崩土撤去10件 路肩修繕23件 法面補修15件 路面補修28件 排水施設16件 安全施設5件 倒木撤去 9件
R2	75	113	125,303	崩土撤去22件 倒木撤去8件 法面･路肩等修繕83件
R3	45	90	57,604	崩土撤去4件 倒木撤去10件 排水施設浚渫(しゅんせつ)3件 法面･路肩等修繕73件

令和３年度版　豊田市森づくり白書

令和4年8月

発行者　　豊田市

編　集　　豊田市 産業部 農林振興室 森林課

〒444-2424
愛知県豊田市足助町宮ノ後19-5
（豊田市足助支所地内）
ＴＥＬ：　0565-62-0602
ＦＡＸ：　0565-62-0612
E-mail:　shinrin@city.toyota.aichi.jp